

## 「交流の旅」と「教会懇談会」(2017.9.17)

8月30日、「教会交流の旅」一行8名が当教会に来られた。東京教区北支区の牧師・信徒の皆さんである。北支区と奥羽教区はこの営みを2010年より実施していて、今年度は秋田県の諸教会を訪問する形で実施された。28日、県北の男鹿教会から始まり30日県南の秋南教会まで訪問された。当教会からは6名がこの交流に加わり、主にある交わりがなされた。北支区といってもこれまであまり馴染みのないところだったが、祈り合い、情報を交換する中で、「今度東京に行ったらお邪魔します」という声が自然と出てきた。この交流の成果だと思う。



9月10日礼拝後、「教会懇談会」が開かれた。16名の参加者がこれからの横手教会をどう形成したらいいか、礼拝・伝道・その他全般にわたってお互いの心に芽生えていることを分かち合った。その一部を共有したい。

- 1 S 神学生に対して月5千円の援助をする。一般会計からの支出とする。については本人から証を伺いたいのでその機会を作るよう、牧師が交渉する。
- 2 讚美歌を歌う際、この1か月間2番と3番の間にオルガンの間奏を入れてきた。この試みは、呼吸を整え、歌詞を確認するなど意義があるので、継続する。
- 3 礼拝中に地震があった場合の対処について質問があり、受付の人や後ろの席にいる人が玄関の戸を開け、お互い助け合って外に避難することを確認した。
- 4 牧師が会堂の屋根に上っているが、危険なのでできれば登らないでほしいとの要望があった。牧師からはお心遣いに感謝し、今後さらに注意し、慎重に行動したいとのコメントがあった。一方、会堂管理の在り方を検討したらいい、との意見も出た。
- 5 会堂掃除をいつも決まった人でやっていることについて、礼拝後全員でするようにしてはどうかとか、第2聖日に会堂内掃除、第4聖日に会堂外掃除はどうかとか意見が出た。しかし、まず今の体制を続け、様子を見て次年度判断することにした。
- 6 今年はクリスマス礼拝とイブ礼拝が同じ日になっているが、イブ礼拝は一般の方も来やすく、伝道のチャンスでもあるので、24日夜がいいのではないか。クリスマス祝会を12月17日に行う案、ゲストを迎える案も含め、もう少し検討する。
- 7 横手のかまくら行事について、ミニかまくら作り等で参加する。この機会を活かし教会に関心を持ってもらう。どのように参加するか、今後工夫する。

以上の他にも話し合われたが、お互い語り合うことで横手教会が「私の教会」「私たちの教会」という意識が深まったかと思う。もちろん横手教会はキリストの教会である。その教会に「わたしが」「私たちが」繋がっているということである。

「教会員お互いの意思疎通が大切です。こういう会を設けてもらいとても良かったと思う。」最後にそのように述べられたある姉妹の言葉が印象深かった。